

科 目 名	相談援助の基盤と専門職Ⅰ【社福・スポーツ健康福祉】					開 講 キャンパス	神 埼		
担 当 者	滝 口 真								
開 講 年 次	1	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選 択		
授業の概要 及びねらい	1. 社会福祉の役割（総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発含む）と意義について解説する。 2. 精神保健福祉士の役割と意義について解説する。 3. 相談援助の概念と範囲について解説する。 4. 相談援助の理念について概説する。								
授業の 到達目標	1. 知識・理解 ・社会福祉士と精神保健福祉士の定義と義務が理解できる。 ・社会福祉士と精神保健福祉士の法制度成立の背景と制度見直しの背景が理解できる。 ・国際ソーシャルワーカー連盟（IFSW）の定義が理解できる。 2. 思考・判断 ・社会福祉士の特殊な援助と包括的な援助の関わりを述べることができる。 ・精神保健福祉士の特殊な援助と包括的な援助の関わりを述べることができる。 ・ソーシャルワークの形成過程における慈善組合協会とセツルメント運動の関わりを述べることができる。 3. 関心・意欲 ・社会福祉士が福祉実践現場でどのように活用されているかについて感心を持つ。 ・精神保健福祉士が福祉実践現場でどのように活用されているかについて感心を持つ。 4. 態度 ・社会福祉士と精神保健福祉士の成立背景について主体的に考える。 ・事例をとおして相談援助の内容を感じ取る。 5. 技能・表現 ・新聞記事を適切に用いて、社会福祉士および精神保健福祉士領域の説明ができる。								
学習方法	1. 講義形式による学習 2. 視聴覚機器による学習 3. 事例検討による学習 4. レポートによる学習								
テキスト及び参考書等	『相談援助の基盤と専門職』植戸貴子編 みらい 2010年 参考書『社会福祉の理論と制度』勁草書房 2010年								
評価基準・方法		到達目標							
		知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%			
定期試験		◎	◎			70			
小テスト等									
宿題・授業外レポート		◎		○		10			
授業態度		○		○	○	10			
受講者の発表		○	○	○	○	5			
授業への参加度		○	○	○	○	5			
その他									
合 計						100			
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)									
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）									
第 1 週	社会福祉士法及び介護福祉士法								
第 2 週	社会福祉士の専門性								
第 3 週	精神保健福祉士法								
第 4 週	精神保健福祉士の専門性								
第 5 週	ソーシャルワークに係る各種の国際定義								
第 6 週	ソーシャルワークの形成過程								
第 7 週	相談援助の理念（ソーシャルワークにおける人権尊重）								
第 8 週	相談援助の理念（ソーシャルワークにおける社会正義）								
第 9 週	相談援助の理念（ソーシャルワークにおける利用者本位）								
第 10 週	相談援助の理念（ソーシャルワークにおける尊厳の保持）								
第 11 週	相談援助の理念（ソーシャルワークにおける権利擁護）								
第 12 週	相談援助の理念（ソーシャルワークにおける自立支援）								
第 13 週	相談援助の理念（ソーシャルワークにおける社会的包摶）								
第 14 週	相談援助の理念（ソーシャルワークにおけるノーマライゼーション）								
第 15 週	まとめ								
第 16 週									
備 考	・事前学習と事後学習による主体的な授業への出席が求められます。 ・授業出席の際には必ずテキストを持参して下さい。								